2020年3月13日 氏名:林育任

# 職務経歴書

# ■ 職務経歴

□2018 年 11 月~ 在籍中 株式会社 DT42

従業員数:11 資本金:2,700万円

雇用形態:インターン、正社員 年収:200万円

# ■ 得意分野・活かせる経験

1. 画像処理

2. 情報可視化

## ■ 開発経験

期間 プロジェクト概要 開発環境 メンバー/役割/担当フェーズ  2019年11月 【プロジェクト概要】 ◆環境 3名/	開発経験			
2019年11月 【プロジェクト概要】	期間	プロジェクト概要	開発環境	
Tacebook データの data cleaning   Linux				担当フェーズ
月	2019年11月	【プロジェクト概要】	◆環境	3名/
1. Facebook json を表 (pandas.DataFrame) にする	~2020 年 2	Facebook データの data cleaning	Linux	メンバー/
2と 2. Database schema を定義すること 3. json を表にするライブラリーを作ること。本来 30 行以上コードは 3 行になることができる 【プロジェクト github】 https://github.com/numbersprotocol/fb-json2table  2019 年 8 月 【プロジェクト概要】	月	【内容】	◆言語	コーディング
2. Database schema を定義すること 3. json を表にするライブラリーを作ること。本来 30行以上コードは3行になることができる 【プロジェクト github】 https://github.com/numbersprotocol/fb-json2table  2019 年 8 月 【プロジェクト概要】     自社のライブラリーに tensorflow object detection 月    自社のライブラリーに tensorflow object detection 月    自社ライブラリーに tensorflow object detection 月    自社ライブラリーに表的なインプット、api 定義     的なインプットにして、api からのアウトプット、自社ライブラリー定義的なアウトプット、自社ライブラリー定義的なアウトプットにする。 例えば、自社定義的な image annotation を tensorflow 定義的な ".record" file にすること 2019 年 4 月 【プロジェクト概要】     つデータを収集すること 2019 年 8 自社のアプリ Lifebox の開発。Lifebox は使用者周り 月    のデータを収集するアプリ。 【内容】 1. アプリ中に資料を interactive plot で可視に すること 2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か 室外にいることを判別するアルゴリズムの開発     は data driven document)		1. Facebook json を表 (pandas.DataFrame) にする	python3	
2. Database schema を定義すること 3. json を表にするライブラリーを作ること。本来 30 行以上コードは 3 行になることができる 【プロジェクト github】 https://github.com/numbersprotocol/fb-json2table  2019 年 8 月 【プロジェクト概要】		こと	◆ライブラリー	
30 行以上コードは 3 行になることができる		2. Database schema を定義すること		
【プロジェクトgithub】 https://github.com/numbersprotocol/fb-json2table  2019 年 8 月  ~2019 年 9   自社のライブラリーに tensorflow object detection api を導入すること [内容]  1. 自社ライブラリー定義的なインプット、api 定義 的なインプットにして、api からのアウトプット、自社ライブラリー定義的なアウトプットにする。例えば、自社定義的な image annotation をtensorflow 定義的な ".record" file にすること  2019 年 4 月  ~2019 年 8   自社のアプリ Lifebox の開発。Lifebox は使用者周りのデータを収集するアプリ。 [内容]  1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化すること  2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か室外にいることを判別するアルゴリズムの開発		3. json を表にするライブラリーを作ること。本来	•	
https://github.com/numbersprotocol/fb-json2table   2019 年 8 月		30 行以上コードは 3 行になることができる		
2019 年 8 月		【プロジェクト github】		
A		https://github.com/numbersprotocol/fb-json2table		
月	2019 年 8 月	【プロジェクト概要】	◆環境	3名/
【内容】  1. 自社ライブラリー定義的なインプット、api 定義 的なインプットにして、api からのアウトプット、自社ライブラリー定義的なアウトプットにする。 例えば、自社定義的な image annotation を tensorflow 定義的な ".record" file にすること  2019 年 4 月 ~2019 年 8 自社のアプリ Lifebox の開発。Lifebox は使用者周り 月 のデータを収集するアプリ。 【内容】  1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化 すること 2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か 室外にいることを判別するアルゴリズムの開発  python3  ◆ライブラリー tensorflow、opency  を 場境	~2019 年 9	自社のライブラリーに tensorflow object detection	Linux	メンバー/
1. 自社ライブラリー定義的なインプット、api 定義	月	api を導入すること	◆言語	コーディング
的なインプットにして、api からのアウトプット、自社ライブラリー定義的なアウトプットにする。 例えば、自社定義的な image annotation を tensorflow 定義的な ".record" file にすること   2. User guide を作ること   2. User guide を作ること   2. User guide を作ること   4		【内容】	python3	
自社ライブラリー定義的なアウトプットにする。 例えば、自社定義的な image annotation を tensorflow 定義的な ".record" file にするこ と 2. User guide を作ること  2019 年 4 月 ~2019 年 8 自社のアプリ Lifebox の開発。Lifebox は使用者周り のデータを収集するアプリ。 【内容】 1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化 すること 2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か 室外にいることを判別するアルゴリズムの開発  tensorflow, opentv  ◆環境 Android メンバー/ ◆言語 コーディング はypescript  4 ライブラリー d3 (data driven document)		1. 自社ライブラリー定義的なインプット, api 定義	◆ライブラリー	
自社ライブラリー定義的なアウトプットにする。 例えば、自社定義的な image annotation を tensorflow 定義的な ".record" file にするこ と 2019 年 4 月 ~2019 年 8 自社のアプリ Lifebox の開発。Lifebox は使用者周り のデータを収集するアプリ。 【内容】 1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化 すること 2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か 室外にいることを判別するアルゴリズムの開発    自社のアプリーで表表的な ".record" file にすること   ◆環境		的なインプットにして, api からのアウトプット,	tensorflow, opency	
tensorflow 定義的な ".record" file にすること  2019 年 4 月 【プロジェクト概要】 ~2019 年 8 自社のアプリ Lifebox の開発。Lifebox は使用者周り Android メンバー/ のデータを収集するアプリ。 【内容】 1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化 すること 2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か室外にいることを判別するアルゴリズムの開発		自社ライブラリー定義的なアウトプットにする。		
と 2. User guide を作ること  2019 年 4 月 【プロジェクト概要】		例えば、自社定義的な image annotation を		
2. User guide を作ること  2019 年 4 月 【プロジェクト概要】		tensorflow 定義的な ".record" file にするこ		
2019 年 4 月 【プロジェクト概要】		と		
<ul> <li>~2019 年 8 自社のアプリ Lifebox の開発。Lifebox は使用者周りのデータを収集するアプリ。         <ul> <li>(内容】</li> <li>1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化すること</li> <li>2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か室外にいることを判別するアルゴリズムの開発</li> </ul> </li> <li>Android ◆言語 typescript ◆ライブラリー d3 (data driven document)</li> </ul>		2. User guide を作ること		
月 のデータを収集するアプリ。 【内容】  1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化 すること 2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か 室外にいることを判別するアルゴリズムの開発  ◆言語 typescript ◆ライブラリー d3 (data driven document)	2019 年 4 月	【プロジェクト概要】	◆環境	5名/
【内容】  1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化 すること  2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か 室外にいることを判別するアルゴリズムの開発  typescript  ◆ライブラリー d3 (data driven document)	~2019 年 8	自社のアプリ Lifebox の開発。Lifebox は使用者周り	Android	メンバー/
<ol> <li>アプリ中に資料を interactive plot で可視化 すること</li> <li>携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か 室外にいることを判別するアルゴリズムの開発</li> </ol>	月	のデータを収集するアプリ。	◆言語	コーディング
すること       d3 (data driven document)         2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か室外にいることを判別するアルゴリズムの開発       document)		【内容】	typescript	
2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か 室外にいることを判別するアルゴリズムの開発		1. アプリ中に資料を interactive plot で可視化	◆ライブラリー	
室外にいることを判別するアルゴリズムの開発		すること	d3 (data driven	
		2. 携帯電話の位置資料を利用して、使用者は室内か		
(indoor outdoor detection)		室外にいることを判別するアルゴリズムの開発		
		(indoor outdoor detection)		

期間	プロジェクト概要	開発環境	メンバー/役割/
			担当フェーズ
2019年2月	【プロジェクト概要】	◆環境	3名/
~2019 年 3	Face recognitionの前期探査	Linux	メンバー/
月	【内容】	◆言語	コーディング、
	1. Face recognition opensource repository を探す	python3	前期探査
	こと	◆ライブラリー	
	2. Opensource repository の不足点と改善策を調べ	dlib,	
	ること	face_recognition,	
	3. 同僚にとって利用しやすくするために、自社のラ	opencv	
	イブラリーに導入すること	-	
2018年12月	【プロジェクト概要】	◆環境	3名/
~2019 年 1	個人的なロケーションデータの分析	Linux	メンバー/
月	【内容】	◆言語	コーディング
	1. 可視化のデザインとコーディング。理解しやすく	python3	
	て情報多い表現法と考えて、最後バブルグラフを	◆ライブラリー	
	利用した。自社 MWC19 に参加した時、このグラフ を採用した。	pandas,	
		matplotlib	

#### ■ 言語経験

開発言語	実務経験での利用	実務以外での利用
Python3	1年(得意言語)	6 ヶ月
Typescript	4 ヶ月	
Transact-SQL		1ヶ月

#### ■ 保有資格

2018年7月	Microsoft Professional Program for Data Science	
https://academy.microsoft.com/en-us/certificates/5dac06c9-21ce-427d-98f9-4a1358623bff/		

### ■ 自己 PR

チームワークを重視して、コードの可読性を重視しています。プログラミングの時、自分のコードは同僚に引き継がれるかもしれない意識をもって、同僚に理解しやすい書き方をずっと考えています。 Software engineer として一年時間に色々な経験を積んで、必ず貴社の業務を役立つと信じます。是非、面接の機会をいただければと思います。何卒よろしくお願いします。

以上